

第14回CLC大阪サロンのお知らせ

「セルフヘルプ～地域の中でのわかちあい」

ゲストスピーカー

特定非営利活動法人ひょうごセルフヘルプ支援センター

ゆきのり

副代表 後藤 至功 さん

仕事、プライベート、何かしらに、人は悩んでいます。誰かに相談をしたい、けれど、誰に相談をすればいいのかわからない あなたも今までに、そういうもどかしさを持ったことはありませんか？

セルフヘルプグループとは、しょうがい、家族介護、病気、依存、虐待、性、閉じこもりなど、「生きづらさ」を感じた人たちがささえあい、自分自身、地域、そして社会を変えていこうという団体です。セルフヘルプ支援センターでは、当事者の方々をグループに紹介し、当事者と地域の縁結びを行っています。

第14回 CLC 大阪サロンでは、NPO 法人ひょうごセルフヘルプ支援センターの副代表・後藤至功さんをゲストにお迎えします。セルフヘルプ支援センターの活動を通して、地域の中に、たくさんの受け皿があったことに、改めて驚かされると思います。あなたの住む地域を、そしてそこにある社会資源を、もう一度、一緒に見つめなおしてみませんか？（ワンドリンク付き）

日 時：平成 16 年 4 月 16 日（金） 18 時 30 分～20 時 30 分

会 場：大阪 NPO プラザ 3 階「F」会議室

大阪市福島区吉野 4 丁目 29-20（阪神野田駅より徒歩約 10 分）

参加費：会員 1,200 円 一般 1,500 円（会員価格は 1 会員様に対し 1 名様のみ有効です）

定 員：30 名（先着順・定員になり次第締め切ります）

申 込：下記の連絡先までお願いいたします。（月・木・金） 担当：宇城（うじょう）

Fax 06-6466-3740 e-mail clc-osaka@clc-japan.com

主 催：NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）大阪

全国コミュニティライフサポートセンター（略称 CLC）は、“誰もが地域で普通に”暮らせる地域社会を目指して 1999 年に発足した NPO です。2001 年 2 月に法人化した後も、子ども、障害者、高齢者分野を問わず新たな挑戦をしている全国の取り組みを紹介しながら各地でネットワークづくりを進めてきています。大阪事務所は 5 つ目の拠点となります。

申込者				
住 所	〒			
電話番号	() -		Fax 番号	() -
勤務先（所属）				
交流会 如後約 2 時間	出席・欠席（会費約 3000 円）		ご入会頂いている ものがあれば 印	JUNTOS / 宅老所グループホーム全国ネットワーク 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 / CLC

講師プロフィール

後藤 至功 (Yukinori Gotoh)

平成7年、兵庫県社会福祉協議会入社。ボランティアセンター、地域福祉部勤務を経て、平成16年、福祉事業部に配属、現在に至る。

現在は、自身の当事者活動の他、(特)ひょうごセルフヘルプ支援センターの副代表、(特)リカバリーセンターさぼるて理事(アルコール依存症者支援団体)など当事者支援活動を人生のライフワークにしている。

1973年、兵庫県宝塚市生まれ、佛教大学卒。社会福祉士。好きな言葉は「気合」。

キーワード1「セルフヘルプグループ」

ひょうごセルフヘルプ支援センターの2002年の調べによると、兵庫県内で300以上のセルフヘルプグループがあり、現在も増えつづけているとのことです。差別や偏見、情報の不足により「生きづらさを感じる人たち」が、悩みを共有することで、否定していた自分たちの生き方を肯定できるようになり、ささえあい、自ら課題に立ち向かっているのです。

キーワード2「エンパワメント」

「これからの地域福祉を構成する要素の一つは当事者の権利擁護とエンパワメント」と後藤さんは言います。利用者の保護から抜けきらない立場ではなく、当事者として、自己決定をし、地域や仕組自体を変えていく - いわば、当事者の方たちは「守られる立場」ではなく地域福祉を担う重要な人材となる、ということでしょう。

CLC 大阪サロンで『地域との共生』を一緒に考えてみませんか？

第13回 CLC 大阪サロンミニレポート

サロンの様子はCLC刊行地域生活応援誌「JUNTOS」でもご紹介しています

拡大版として開催された第13回 CLC サロンは、神戸市勤労会館で、約90人の参加者とともに行われました。ゲストは、北海道医療大学助教授の向谷地生良さんと、浦河べてるの家のメンバーの佐々木実さん、早坂潔さん。精神障害を抱える当事者がありのままを話す姿に共感し、そしてたくみな話術で、会場は時折笑いの渦に包まれました。

向谷地さんはべてるでの活動を通じて「ソーシャルワーカーの究極は当事者に相談する人になること」といいます。べてるでは、発作がおき、体が固まっても「それが順調!」と、ありのままを受け入れてきています。サロン参加者より、「今までコンプレックスや弱みを隠してきました。でも、それらのことをあたためていったらプラスになるんじゃないか、この話を聞き、とても励まされたような、気づかせてもらったような気がしました」こんな感想をいただいています。(E)

今月のこんなところで書籍案内

「いっしょにできること」第1回地域共生ホーム全国セミナーin とやま 報告書

第1回地域共生ホーム全国セミナーin とやま実行委員会編 / B5判 / 97ページ / 1575円(税込)

2003年9月に富山市で開催した「第1回地域共生ホーム全国セミナーin とやま」を完全収録。講師たちの言葉の端々に、新たな気づきや発見を感じ取れるでしょう。いよいよ「別々に過ごすこと」ではなく、「いっしょにできること」を考える気運が高まってきた!(こちらの本は、サロン当日、会場でも販売しております)